

上部尿路癌における利尿剤併用造影 PET/CT に関する研究

1. 研究の対象

2012 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日に上部尿路癌（腎盂癌、尿管癌）と診断され手術（腎尿管全摘術）を行った患者さんのうち、手術前に上部尿路癌における利尿剤併用造影 PET/CT を受けられた方です。

2. 研究目的・方法

通常上部尿路癌の疑われる患者さんは、痛みを伴う膀胱鏡を用いた上部尿路（腎盂、尿管）の造影検査が行われることがあります。利尿剤併用した造影 PET/CT では、痛みを伴う検査を行わずとも、上部尿路癌の診断をすることが可能となります。また PET の集まりの値（SUV 値）を算出することで、より悪性度の高い癌であるか、事前にある程度予測することが可能となります。

研究実施期間は倫理委員会承認日～2029 年 3 月 31 日までです。当科において上部尿路癌と診断され、利尿剤併用造影を含めた PET/CT、CT 検査を行い、手術（腎尿管全摘術）を行った患者さんを対象としました。まず上部尿路を左右の腎盂、上部尿管、中部尿管、下部尿管、計 8 カ所に分類。それぞれの病理検査結果での癌の有無と、利尿剤併用造影 PET/CT、利尿剤併用単純 PET/CT、単純 PET/CT、腹部 MRI、造影 CT における異常の有無を、画像検査方法ごとに比較し、それぞれの診断する能力（感度、特異度、陰性的中率、陽性的中率、正診率）を算出します。そして各画像検査方法での診断能力を比較検討しました。

病変部における PET の集まりの値の最大値（SUV 最大値）と病理検査での悪性の程度、深さ、広がり方、血管、リンパ管への浸潤の有無など病理学的因子について、関連性を調べることで、予測因子としての可能性についても検討しました。

今回 100 例程度の解析を行うことで、信頼性の高い検討が可能であると考えられます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、画像データ、手術病理結果、カルテ番号等です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他 8 の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学 医学部 泌尿器科学講座 研究責任者 島本力

TEL 088-880-2402 / FAX 088-880-2404

E-mail : urology@kochi-u.ac.jp